



夏休みの 工作・自由研究 をサポート
スマホ・デ・考古学

*Enjoy our history with your family,
and with your SMARTPHONE!*

レトロ・レトロの展覧会 2018

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

もくじ

●さいしょにチェック！ スマホ・デ・考古学の楽しみ方・・・1

●私たちのおしごと おしえちゃうぞ！ 遺跡調査のヒミツ・・・2

●平成 29 年度の主要な調査へ GO!・・・6

- ①蜂屋遺跡・・・6
- ②法養寺遺跡・横関遺跡・・・7
- ③ブタイ遺跡・・・8
- ④番場遺跡・播沢遺跡・・・9
- ⑤塩津港遺跡・・・10
- ⑥上御殿遺跡・・・12
- ⑦福満遺跡・・・13
- ⑧大津廃寺跡・・・14
- ⑨旧正蔵坊庭園・・・15
- ⑩椿谷遺跡・・・16
- ⑪賀田山遺跡・・・17
- ⑫黒土遺跡・・・17
- ⑬三津屋遺跡・・・18
- ⑭三上西ノ川原遺跡・・・18

ゲスト展示 近年の注目遺跡

- ⑮曼陀羅山古墳群・・・19
- ⑯史跡水口岡山城跡・・・20

●平成 29 年度調査事業一覧・・・21

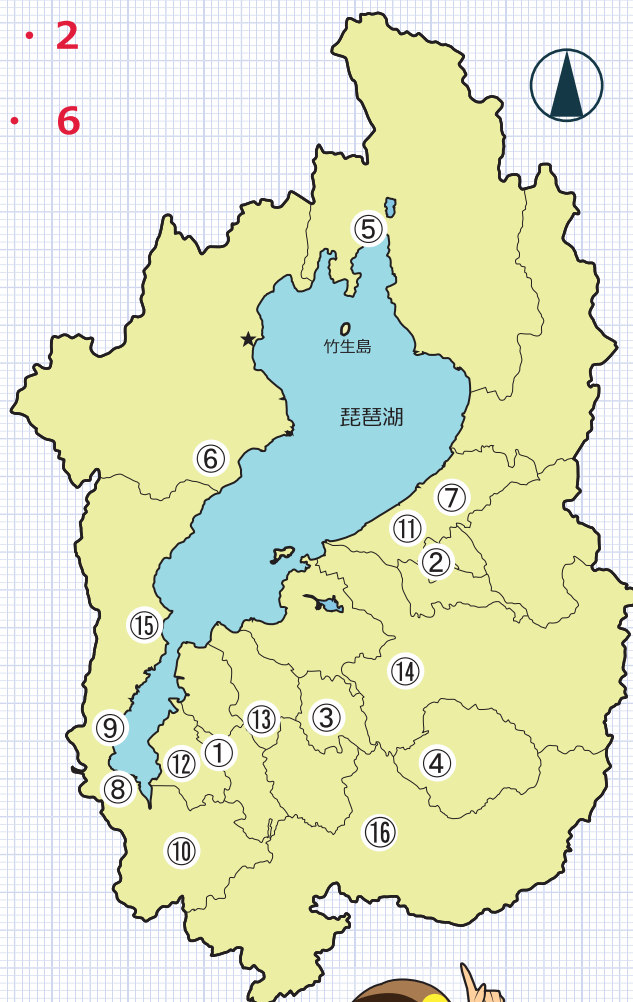
●ネットで GO! 自由研究につかえるかも？ 私たちのホームページ!・・・22

●メモしてスケッチして GO!・・・23

●秋のおとなの考古学体験講座・・・25

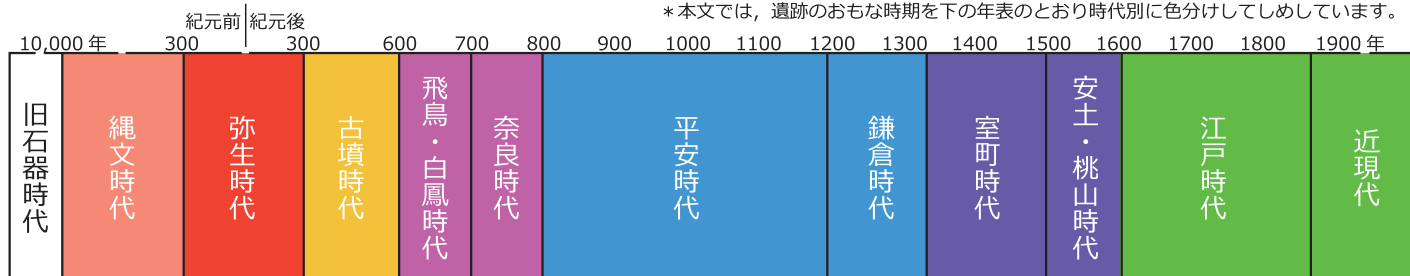
ご紹介する調査遺跡の場所

※表紙写真は、夏の早朝、高島市今津町石田川河口近く（下図★）から竹生島・葛龍尾崎方面をのぞんだもの。
左手の葛龍尾崎の向こうの奥に、かつての日本列島の流通を支えた塩津の港（⑤）がある。



時代のめやす

* 本文では、遺跡のおもな時期を下の年表のとおり時代別に色分けしてしめています。



さいしょに
チェック！

夏休みの自由研究・工作进行をサポート！ 【スマホ・デ・考古学】の楽しみ方

①探してGO！ クイズラリー

◆滋賀県のあちこちで、さいきん発掘された出土品を展示しているよ。みんなの家の近くの遺跡からもでているかも！

◆クイズラリーで全問正解すると、琵琶湖の縄文貝塚【栗津湖底遺跡】から発掘されたホンモノの貝殻（なんと4,500年前！）を解説書付きでプレゼント！



縄文貝塚の
貝殻の詳しい
話はコチラ



②古代の技でGO！火起こし体験

土・日限定
スペシャル
プログラム

◆くらしに絶対必要な〈火〉を自分で起こしてみよう。キミは何秒でつけられるかな？



火起こしの詳しい
話はコチラ

◆スコ技をマスターしたキミの写真や動画を【スマホ】で撮ってもらおう！



③スマホでGO！ SNSで世界発信

◆展示している遺物はぜんぶ写真撮影OK!!
SNS映えする遺物はあるかな？

◆めずらしい出土品、体験の写真や動画を【スマホ】でたくさん撮って、世界へ発信してみよう！

④スマホでGO！ QRで調べ学習

◆パンフレットや展示ケースのQRコードを【スマホ】でよみとってみよう！

◆もっとくわしい記事が見つかるよ。

◆自由研究のヒントも見つかるかも。



私たちのおしごと
おしえちゃうぞ！

遺跡の調査のヒミツ

◆滋賀県のあちこちに遺跡^{いせき}はあります。遺跡はむかしの人々がのこした宝物。もし、遺跡のなかで工事があれば、遺跡がこわれてしまいます。だから、工事のまえに発掘調査^{はくつちようさ}をして遺跡の様子を記録し、その内容を報告書にまとめます。現地で実際に遺跡を掘る発掘調査^{はくつちようさ}と、作成した記録と見つかった遺物^{いぶつ}を整理する整理調査^{せいりきさ}をし、報告書^{ほうこくしょ}をまとめて、ようやく調査が終わります。

①計画をたてる！

◆調査する前に、現地に行って、どのようにして調査するのか打ち合わせて、調査の計画を立てます。



調査前の下調べ



②ショベルカーでほる！

◆最初は、遺跡の埋まっている地層^{ちそう}ちかくまで、ショベルカーをつかって少しずつ掘り下げていきます。



ショベルカー



③遺構をさがす！

◆掘り下げた面を削り^{けず}とって、土の色や質のちがい^{ちがい}を見つけていきます（下の写真）。地面をきれいに削りあげると、あちこちに丸や四角いかたちが見えてきます（右下の写真）。これが昔の人が掘った柱穴^{みぞ}や溝^{いこう}といった遺構^{いこう}なのです。



作業員さん



まだまだあるぞ！
QRで発掘アイテムを
もっと調べよう！

手がり



移植ごて



自作スコップ

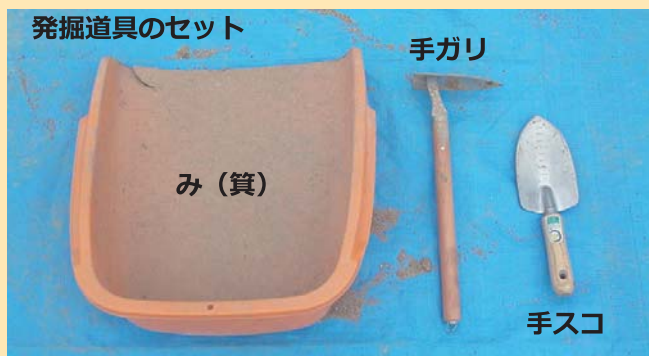


掃除機



④遺構をほる！

◆見つかった遺構^{いこう}を掘り下げます。土器が出てくることもあるので、しんちょうに掘っていきます。



⑤遺構を記録する！

◆遺構を掘っているとちゅうや、掘り終わってから、遺構がどこにあったのか、どのくらいの深さだったのか、どんなふう^うに埋まっていたのか、などを写真や図面でくわしく記録します。

右の写真は、測量機械で遺構の位置をはかり、図面に記録しているところです。



マイラー用紙



ドローン撮影



⑥説明会をひらく！

◆遺跡の様子がわかってくると、調査現場で説明会をおこないます。説明会では、遺構と遺物^{いぶつ}を見てもらいながら調査でわかったことを説明します。

現地説明会は、遺跡^{ふたい}にとっても、調査員にとっても晴れ舞台なのです。



調査員の小島孝修さんに聞きました！

—発掘調査で気をつけていることってなんですか？

●使えるお金や時間にかぎりがあるし、いろいろムズかしいこともあるんだけど、チームワークがなにより大事な。あかるく元気にすすめるようにしています！

—発掘でおもしろいところは？

●まいにち発見があるところです。数千年前、数百年前の人々のくらしや生きかたがみえてくるので、コーフンします。

—みなさんにお伝えしたいことは？

●歴史はむかしの人々のチエがつまったタカラ箱。ぜひ箱の中をのぞきこんで、いっしょに学んでいきましょう！



⑦遺物をあらう！

いぶつ

◆見つかった遺物は、ブラシやふでをつかって水洗いします。土器は、土に埋まっているうちに、もろくなっているものが多く、ゴシゴシ洗うとキズがついてしまいます。ですから、できるだけやさしく洗います。

⑧破片をつなげる！

◆ほとんどの遺物はバラバラに割れて見つかります。パズルのように、破片をひろげてつなぎ合わせます。でも、破片がすべてそろっているとはかぎりません。どうしても破片がない場所は、石こうなどをいれて、もとの形に復元します。



スーパー補助員さん



破片をつなげる

⑨図面で記録する！

かんさつ

とくちょう

◆遺物をじっくり観察して特徴をよみとり、いつごろ、どこでつくられたものなのかなどを検討します。その結果を図面にかき入れて、記録していきます。完成した図面はコンピューターをつかって、きれいに仕上げます。



図面をかく



図面を整える



⑩写真で記録する！

◆復元した遺物は、図面とともに写真でも記録します。右の写真は、写真をとるために、土器をきれいにならべているところです。



こだわりの
フィルムカメラ



くっきりバッチリ
赤外線写真



内部をさぐる
X線写真

⑪文章で記録する！

◆見つかった遺構・遺物の説明と、それらから昔の人々がどのように暮らしていたのか、わかったこと・かんがえたことを文章にして、図面や写真とあわせて報告書にまとめていきます。

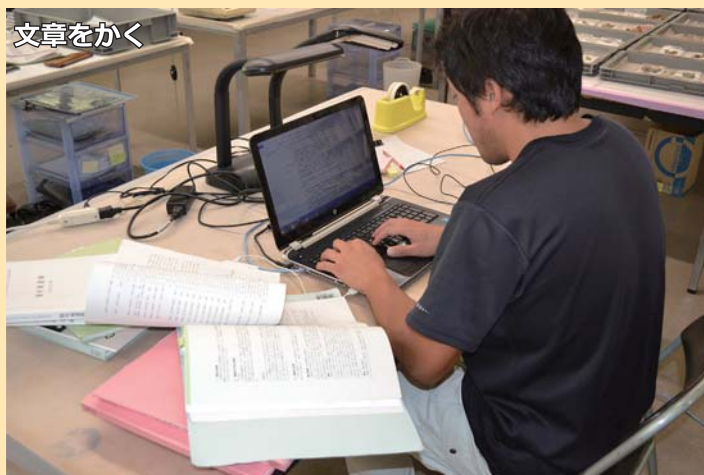
⑫報告書のできあがり！

◆できあがった報告書です。報告書は、工事でこわされる遺跡からのメッセージであり、遺跡がそこにあったことの証拠です。全国の図書館などにおくられ、だれでも読むことができ、歴史をかんがえる手がかりとなっています。

写真をとる



文章をかく



これが完成品！



調査員の木下義信さんに聞きました！



—整理調査で気をつけていることってなんですか？

●整理調査は、集中力がとても大事な仕事です。でも、集中してばかりでは、心も身体もまいってしまいます。だからこそ、いつも楽しく明るいふんいきで過ごせるようにしています。

—整理調査のおもしろいところは？

●まいにちのように土器をながめていると、発掘調査では気づかなかった発見があります。「あれ？よく見ると、この土器はとても変わっているかも？」とか・・・。そんな土器と語り合う時間が楽しくてしかたありません。

—みなさんにお伝えしたいことは？

●遺物には、そのひとつひとつにむかしの人々の思いがつめこまれています。もし、遺物を見るチャンスがあったら、少し立ち止まって、じっとながめてみて下さい。そうすると、遺物がそつとあなたに語りかけてくれるかもしれませんよ！？

平成 29 年度の
主要な調査へ **GO!**

はく ほう

白鳳時代の 瓦が出土！

① 蜂屋（はちや）遺跡

／栗東市蜂屋地先

◆ 調査主体：滋賀県教育委員会

◆ 調査機関：(公財) 滋賀県文化財保護協会

古墳

飛鳥白鳳
奈良

平安
鎌倉

室町
安土桃山

江戸
近現代



現地説明会資料



宇和宮神社



白鳳時代の瓦 屋根の軒先用の、文様が入った瓦です。文様は奈良県の法隆寺と共通し、法隆寺式軒丸瓦・軒平瓦と呼ばれています。



法隆寺式軒丸瓦が出土した様子 瓦が使われた時代よりも新しい時代（室町時代～安土桃山時代）の溝から出土しました。



おそなえ用の土器が
おさめられていました。

古墳時代後期頃（6 世紀）のお墓 墓穴を掘って木の棺を据えていたと考えられますが、棺はくさって残っていませんでした。

1. 調査の契機—調査したわけ

蜂屋遺跡は栗東市蜂屋にある遺跡で、中ノ井川付替工事に伴い、平成 29 年から発掘調査を行っています。

2. 全体の概要—見つかったモノ

古墳時代～江戸時代の建物や溝・井戸・墓といった遺構や、土器類を中心とする遺物が見つかっていて、蜂屋地域が長らく人々の生活の場として利用されてきたことが分かりました。なかでも古墳時代や平安時代末～鎌倉時代初頭の遺構や遺物が多く、大きな集落があったようです。

3. トピック—分かったコト

出土遺物の中でも白鳳時代の瓦が注目されます。当時瓦を使っていた建物は寺院しかありません。蜂屋にはかつて「蜂屋寺」があったという言い伝えが残っています。今のところお寺にかかわる遺構は未発見ですが、今回見つかった瓦は「蜂屋寺」に使われていたとみるのが自然でしょう。今後の調査で幻の「蜂屋寺」が姿をあらわすかもしれません。

古代の地域開発支えた大溝

②法養寺（ほうようじ）遺跡・横関（よこぜき）遺跡

／犬上郡甲良町大字在土地先

飛鳥白鳳
奈良

◆調査主体：甲良町教育委員会

◆調査機関：（公財）滋賀県文化財保護協会



大
溝

現地説明会



水田開発の用水路



銅銭神功開寶



調査区の全景 中央に竪穴建物と掘立柱建物が見えています。



幅 5m 以上におよぶ大溝

1. 調査の契機—調査したわけ

（仮称）甲良町総合防災センター建設工事に伴って発掘調査を実施しました。

2. 全体の概要—見つかったモノ

奈良時代を中心とした竪穴建物や掘立柱建物、幅 5 m 以上におよぶ大溝が見つかりました。

3. トピック—分かったコト

甲良町は扇状地という地形に位置しているため、水を得るのが非常に困難な地域でした。今回発見された大溝は田んぼに水を引くための用水路であり、この溝によって一帯の水田開発を進めたのではないかと考えます。つまり、この大溝は古代の人々にとって、命の動脈だったといえるでしょう。大溝からは、最も古いもので飛鳥時代の遺物が出土していますので、開発時期はさらにさかのぼるようです。

また、溝に隣接して見つかった竪穴建物からは奈良時代の銅銭「神功開寶」が 1 点出土しました。



見つかった掘立柱建物

す え き 須恵器生産と鏡山の開発

古墳

飛鳥白鳳
奈良

③ブタイ（ぶたい）遺跡／蒲生郡竜王町大字山面字ブタイ地先

◆調査主体：竜王町教育委員会 ◆調査機関：（公財）滋賀県文化財保護協会

現地説明会資料



記者発表資料



見つかった大溝 幅 5m・深さ 1.7mをはかる大規模なもの。人工的に掘られたのではないかと考えています。



見つかった須恵器 焼けひずんだり、ヒビが入ったり、口の部分が曲がったり、別の破片がくっついていたりした不良品です。



帯金具 役人がつけたベルトの金具です。この施設に役人がいたことがわかります。

付札木簡 近隣の「桐原郷」に住む「蕙原史」という人から、この施設にとどいた補給物資に付けられていた荷札です。



桐
原
郷

蕙
原
史

1. 調査の契機—調査したわけ

滋賀県最大の古代須恵器生産地—鏡山古窯趾群の東側にひろがる遺跡です。平成 29 年度に土地開発に伴って発掘調査を実施し、現在報告書作成にむけて整理調査中です。

2. 全体の概要—見つかったモノ

以前の竜王町教育委員会の調査では、奈良時代頃の掘立柱建物群が見つかり、墨で字が書かれた土器（墨書土器）なども出土しました。

今回の調査では、掘立柱建物群と大溝が見つかり、大溝から須恵器や木製品がたくさん出土しました。

3. トピック—分かったコト

須恵器には不良品が目につきます。焼き損じたものをここで選んで捨てたようです。また、古代の役所跡で発見例が多い帯金具や「桐原郷蕙原史」と書かれた付札木簡が出土しました。このような遺物などから、鏡山での須恵器生産に深く関係した施設と

けが た かたな がた もく せい ひん 穢れを断つ？刀形木製品

④ 番場（ばんば）遺跡・播沢（はりさわ）遺跡

／蒲生郡日野町三十坪地先

◆調査主体：滋賀県教育委員会

◆調査機関：(公財) 滋賀県文化財保護協会

縄文

古墳

飛鳥白鳳
奈良

平安
鎌倉

前回調査の出土遺物・網代



関連する
周辺の
名所

清源寺



集斯亭



蒲生氏ゆかりの地



馬見岡綿向神社



播沢遺跡の調査区を横切る川跡 この川の下流で古墳時代の刀形木製品が出土しました！



番場遺跡 縄文時代晩期（2500 年前）の土器が埋められていた穴。



播沢遺跡 川跡から出土した古墳時代～古代(1400～1500 年前)の刀形木製品。以前の番場遺跡の発掘調査でも、古墳時代中期頃の川辺のマツリ跡が見つっています。

1. 調査の契機—調査したわけ

今回の調査は県道整備工事に伴う事前発掘調査で、平成 29 年 4 月から 9 月にわたり調査を実施しました。

2. 全体の概要—見つけたモノ

番場遺跡では、縄文時代の土器埋納遺構、鎌倉時代頃の穴、時期不明の溝・流路などが見つかりました。一方、播沢遺跡では、古墳時代～古代の川跡や、鎌倉時代頃の集落などが見つかりました。

3. トピック—分かったコト

播沢遺跡では、川跡から刀形木製品 1 点が出土しました。マツリ（祭祀）の道具で、上流から流れて来たようです。

刀形木製品とは、刀の木製模造品のこと。木製なので実際にモノは切れず、マツリ用の道具だといえます。となると、刀をマツリに使うのは、一つには神様へ捧げるため、もう一つは人間に障害をもたらす悪い神をその切れ味でおいはらうためだったと考えられます。

港の繁栄かたる豊富な出土品

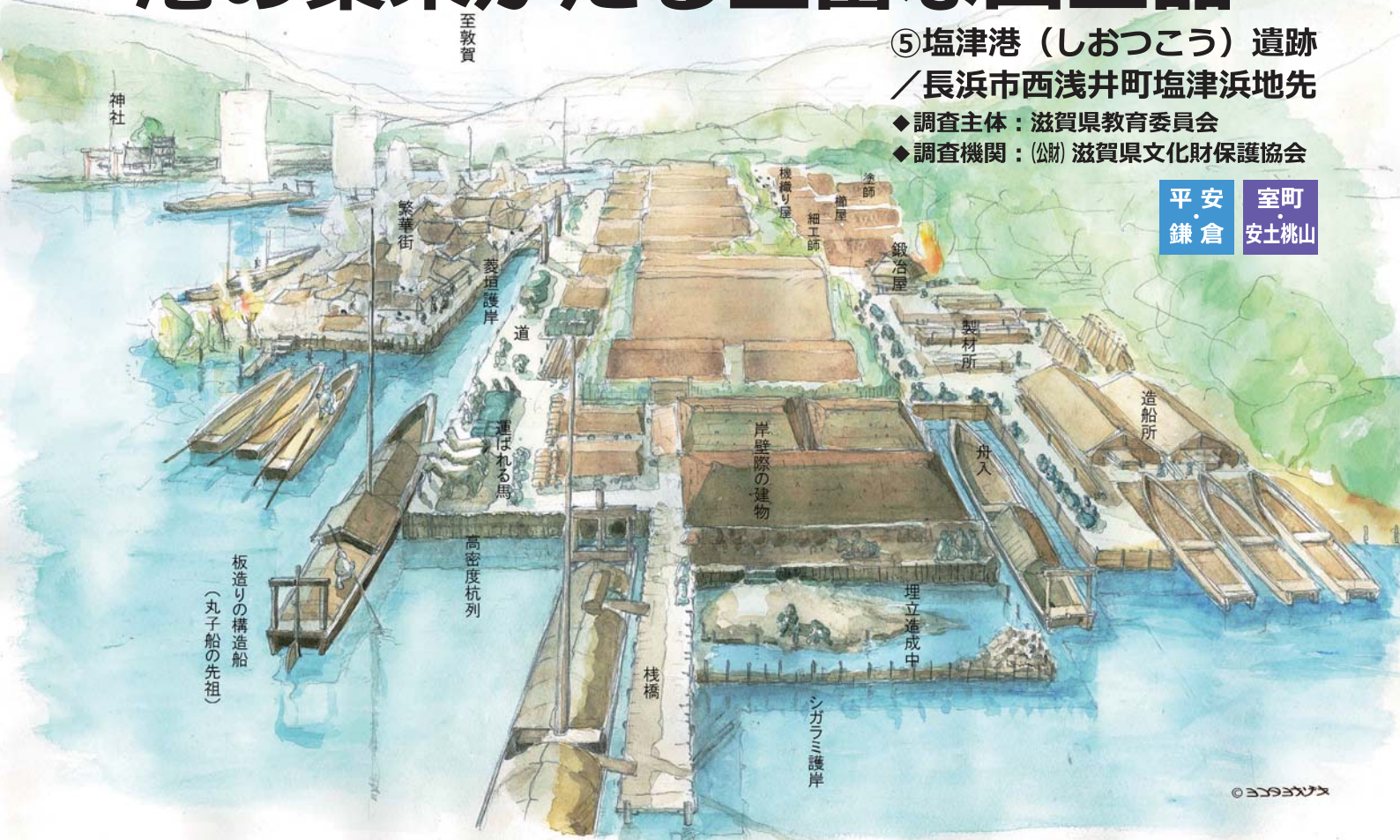
⑤塩津港(しおつこう)遺跡 ／長浜市西浅井町塩津浜地先

◆調査主体：滋賀県教育委員会

◆調査機関：(公財) 滋賀県文化財保護協会

平安
鎌倉

室町
安土桃山



平安時代末(12世紀)頃の塩津港の様子 調査成果にもとづいて作成した復元図。(横田洋三氏作図)

1. 調査の契機—調査したわけ

国道8号塩津バイパス工事に伴い、平成24～27年度にかけて発掘調査を実施しました。現在、報告書作成にむけて整理作業中です。

2. 全体の概要—見つかったモノ

今回の調査での最大の発見は、なんとといっても平安時代～室町時代頃の港跡が見つかったこと。その港跡とは、北陸と京都を琵琶湖でつなぎ、日本列島の流通を支えた港—塩津港の跡です。

発掘調査では、港に関連するさまざまな構造物が見つかり、それらに伴って、港の繁栄ぶりをつづさに物語る品々がたくさん出土しました。



現地説明会資料

調査区の様子 平安時代頃の地面です。調査区上端に道が見えます。真ん中の人物付近が埋め立てられた敷地で、建物が建てられていました。

3. トピック—分かったコト

見つかった遺物の中には、劣化が進み、もろく弱くなっているものも多くありました。このままほっておくと壊れてしまうので、それぞれに適切な方法で保存処理を行いました。



船 板を組み上げて作った構造船の部材。板作り構造船としては日本最古の船で、琵琶湖水運を担いました。



鼻線り はなく 筏に組むときに材木に穴をあけ縄で縛った部分です。材木として使用する時に切り落とされ、捨てられました。



大麦 炭化した状態で出土。おそらく積み荷だったのでしょう。



扇と櫛 右上の櫛は目が細かく洗髪用です。扇は今より大きく、骨の数が少ないものでした。



度量衡 取引に必要な度量衡の道具です。上は重さを測る天秤棒。中央は長さを測る物差し。1寸刻みに筋が、5寸目には×印が付いています。左下は容量を測る枡の側板です。枡の推定容量は1,650 ccです。右下は石の硯。記録用でしょう。



下駄 たくさんの下駄が見つかりました。右側がスギ製の下駄、中央はケヤキ製の下駄です。ケヤキの下駄は、歯が下膨らみで、外側を丸く丁寧に仕上げています。カラカラと高い音が鳴るこの下駄はオシャレの一つだったのかも。左上は歯を補修した下駄です。

まだまだあるぞ！ QR で遺物をもっと調べよう！

22 ページへ GO ! ⇒

中国北方とも関係？ 短剣の鋳型

⑥上御殿（かみごてん）遺跡
／高島市安曇川町三尾里地先

弥生

古墳

飛鳥白鳳
奈良

平安
鎌倉

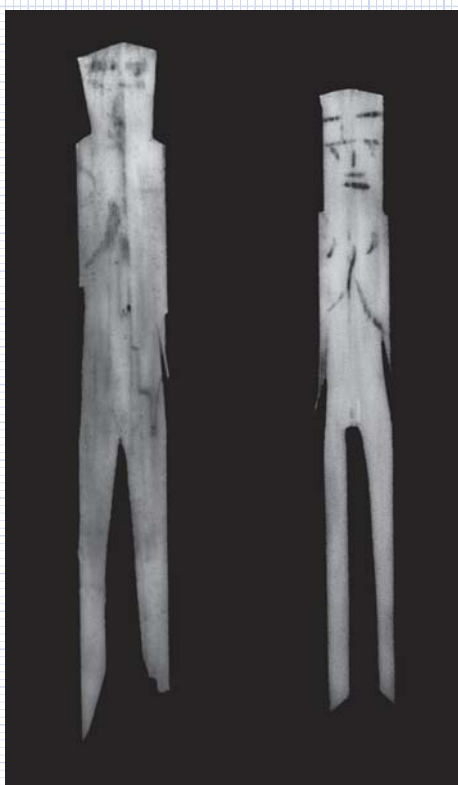
◆調査主体：滋賀県教育委員会

◆調査機関：（公財）滋賀県文化財保護協会

墨書土器



調査区全景 調査区を横切る川跡から、祭祀遺物が出土しました。



人形代（赤外線写真） 人形代とは、人の形を模した木製品で、マツリの道具（祭祀具）です。板を人の形に加工し、顔や体を墨で書き込んでいます。川跡からは、このような奈良時代～平安時代頃の祭祀具が出土しました。

1. 調査の契機—調査したわけ

青井川の河川改修工事に伴い、平成 19 ～ 26 年度にかけて発掘調査をしました。現在、報告書作成のために整理作業を行っています。

2. 全体の概要—見つかったモノ

発掘調査では、古墳時代から平安時代にかけての^{たてあな}竪穴建物や掘立柱建物、古墳、川跡などが見つかりました。

3. トピック—分かったコト

川跡周囲からは、今までに発見例のない形をした^{たんけん}短剣の鋳型が見つかりました。この鋳型の短剣は、^{つか}柄にある二つの環が特徴の^{そうかんつかがしらたんけん}双環柄頭短剣と呼ばれるもので、中国北方地域で春秋戦国時代（紀元前 770 ～ 221 年）に使用された銅剣と似た特徴がみられます。海外との文化交流を研究する^{きちょう}貴重な資料です。



短剣の鋳型

まだまだあるぞ！ QR で遺物をもっと調べよう！

22 ページへ GO !



川跡から多数の遺物が出土！

⑦福満（ふくみつ）遺跡

／彦根市西今町地先

◆調査主体：彦根市教育委員会

◆調査機関：（公財）滋賀県文化財保護協会

古墳

飛鳥・白鳳
奈良

平安
鎌倉



体験！竪穴建物



見つかった川跡 川の幅をしめすために作業員さんに並んでももらいました。



矢じりが見つかった様子 先が二股になった形の矢じりです。



漆塗りのお碗が見つかった様子 鎌倉時代の溝から出土しました。黒漆を全体に塗り、赤漆で文様を描いています。

1. 調査の契機—調査したわけ

（仮称）彦根市新市民体育センター等建設工事に伴い、発掘調査を平成 29 年度から行い、平成 30 年度まで継続する予定です。

2. 全体の概要—見つかったモノ

今回の調査では、古墳時代・飛鳥時代・平安時代・鎌倉時代の遺構が見つかっています。また、古墳時代・飛鳥時代については、竪穴建物や掘立柱建物などを複数確認しました。

3. トピック—分かったコト

調査地を横ぎるように幅 15m 以上の大きな川跡が見つかりました。川の中からは、平安時代を中心として、さまざまな時代の遺物が多数見つかっています。船の水を掻き出す「アカスクイ」や祭祀に使用された矢じり（雁又鏃^{かりまたぞく}）などバラエティに富んだ遺物が良好な状態で出土しています。また、鎌倉時代の溝からは漆器も見つかりました。

江戸時代の水道施設を発見！

⑧大津廃寺跡（おおつはいじあと）

江戸
近現代

／大津市京町三丁目地先

◆調査主体：滋賀県教育委員会

◆調査機関：（公財）滋賀県文化財保護協会

江戸時代の水道



調査地の全景 今回の調査地は滋賀県庁の正面にあたります。江戸時代の町が今も地下に眠っています。



上水道施設 江戸時代の終わり頃（150～200年前）の水道管とそのジョイントです。管は竹、ジョイントは短く切った丸太を使っています。



発掘作業の様子 水道管を掘り出そうと、四苦八苦しているところです。

1. 調査の契機—調査したわけ

NHK新大津放送会館建設工事に伴い、平成29年度に発掘調査を実施しました。

2. 全体の概要—見つかったモノ

調査地点は滋賀県庁の正面に位置し、近世の東海道に隣接しています。発掘調査の結果、江戸時代中期から後期を中心とする、東海道沿いに建ち並んでいた町屋に伴う上水道施設などが見つかりました。

3. トピックス—分かったコト

江戸時代の大津の町を潤していた水道施設の一端を見つけることができました。同時に見つかった井戸からは陶磁器類や箸・漆器椀・横櫓といった多くの遺物が出土しています。陶磁器類には漆接ぎや歪みのある碗や珍しいデザインの鉢のほかに、本来は窯で焼く時に使われる匣鉢等が含まれていました。これらの所有者は窯焼きにも縁のあるハイセンスな風流人だったかもしれません。

園城寺の坊院の庭園を測量

江戸
近現代

⑨旧正蔵坊庭園（きゅうしょうぞうぼうていえん）

／大津市小関町 3-11

◆調査主体：大津市教育委員会

◆調査機関：（公財）滋賀県文化財保護協会



軒先からの眺め



庭園の全景



池泉と浮島 測量作業中の様子です。

1. 調査の契機—調査したわけ

庭園の市指定にかかる測量調査。

2. 全体の概要—見つけたモノ

旧正蔵坊庭園の測量調査を実施しました。この庭園は、園城寺の五別所のひとつである微妙寺の**一坊**であった正蔵坊が正保元年（1644）に再興されたといわれていることから、庭園の作庭時期もその頃と推測されています。

3. トピック—分かったコト

庭園は、敷地の中央にある書院建物の南側にあります。池泉の周囲は護岸石組で囲まれ、池南東岸には枯滝、南岸には洞窟石組が配されています。また、池泉中央には浮島を設け、石橋が架けられています。

敷地内中央の書院建物の南縁側からの眺めは格別です。現在、所有者の懸命な努力によって、この美しい景観の中で、音楽会をはじめとしたさまざまなイベントが行われているのもこの庭園の大きな特徴です。

砂防ダムのための石切り場 !?

⑩ 椿谷（つばきだに）遺跡

江戸
近現代

／大津市枝三丁目地先

◆調査主体：滋賀県教育委員会

◆調査機関：(公財) 滋賀県文化財保護協会

椿谷遺跡資料



石切り場の様子



石を切り出した痕跡



石切り場に残されていた大正時代の曲尺 当時の作業員さんの忘れ物かもしれません。

1. 調査の契機—調査したわけ

椿谷遺跡は、大津市枝三丁目にある石切り場の跡です。ネクスコ西日本が建設する新名神高速道路建設に伴い、平成 29 年度に発掘調査を行いました。

2. 全体の概要—見つけたモノ

今回の調査では、7ヶ所の石切り場と1ヶ所の石積^{いしづみ}の調査を行い、落葉や土砂で埋もれていた石切り場の姿を明らかにすることができました。

また、調査によって、石を割るために使った鉄の鑿^{のみ}や、寸法を測った銅製の曲尺^{すんぽう}などの道具^{かねじゃく}、牛乳瓶^{ぎゅうにゅうびん}等が見つかりました。

3. トピック—分かったコト

昔の文書もあわせて調査しました。その結果、大正 4 年(1915)～大正 9 年(1920)まで、この地点の採石^{さいせき}が滋賀県に申請^{しんせい}されていたことが判明し、この遺跡^{たいしやう}は大正時代に操業^{そうぎやう}した石切り場だと分かりました。

災いふせぐ勸請板

⑪ 賀田山（かたやま）遺跡 彦根市賀田山町地先

◆調査主体：滋賀県教育委員会
◆調査機関：（公財）滋賀県文化財保護協会

平安 鎌倉
室町 安土桃山



賀田山遺跡 資料



勸請板の赤外線写真 仏様の名前が墨で板に書き連ねてあります。

1. 調査の契機—調査したわけ

県営灌漑排水路事業に伴い、平成 28 年度に発掘調査を行いました。

2. 全体の概要—見つけたモノ

平安時代～室町時代頃の集落跡が見つかりました。

まだまだあるぞ！ QR で遺物をもっと調べよう

22 ページへ GO ! ⇒

3. トピック—分かったコト

集落内から「勸請板」が出土しました。勸請板とは、仏様の威力によって邪悪なモノや災いが集落に入らないように、仏の名を書き連ねて集落等の入口に吊り下げた板のことです。

滋賀県は現在も勸請板の風習を色濃く残す地域です。今回の出土は、そうした風習が古くさかのぼることをしめています。

奈良時代の道路状遺構を発見！

⑫ 黒土（くろつち）遺跡 草津市南笠町地先

◆調査主体：草津市教育委員会
◆調査機関：（公財）滋賀県文化財保護協会

飛鳥白鳳 奈良
平安 鎌倉

室町 江戸
安土桃山 近現代



奈良時代の道路状遺構 2本の溝の間が路面です。



資料・黒土遺跡

1. 調査の契機—調査したわけ

南草津プリムタウン土地区画整理事業に伴い、草津市教育委員会からの依頼を受けて、平成 27 年度から発掘調査を実施してきました。現在、報告書作成にむけて整理調査中です。

2. 全体の概要—見つけたモノ

平成 29 年度の調査では、奈良時代～江戸時代の遺構が見つかりました。

3. トピック—分かったコト

今回見つけた道路状遺構は、平成 27 年度に調査したものの続きにあたります。幅 2.2～2.5m の路面が、約 40m にわたって延びていました。

水田開発をしめす井戸等を発見！

⑬三津屋（みつや）遺跡 ／東近江市三津屋地先

◆調査主体：滋賀県教育委員会

◆調査機関：(公財) 滋賀県文化財保護協会

平安
鎌倉

室町
安土桃山

江戸
近現代



見つかった遺構を掘る作業員さんたち

1. 調査の契機—調査したわけ

県水質保全対策事業に伴い、平成 29 年度から発掘調査を行っています。

2. 全体の概要—見つかったモノ

今回の調査では、溝跡や井戸（野井戸）跡など水利に係る遺構が見つかりました。また、その埋め土からは古代～近代の土器・陶磁器等が出土しました。

3. トピック—分かったコト

今回の調査から、調査地周辺は古代以降連綿と田畑が営まれていたことが分かりました。



調査地の状況

平安時代の溝等を発見！

平安
鎌倉

⑭三上西ノ川原（みかみにしのか わら）遺跡／野洲市三上地先

◆調査主体：滋賀県教育委員会

◆調査機関：(公財) 滋賀県文化財保護協会

1. 調査の契機—調査したわけ

一般国道 8 号野洲栗東バイパス工事に伴い、平成 28 年度から発掘調査を行っています。

2. 全体の概要—見つかったモノ

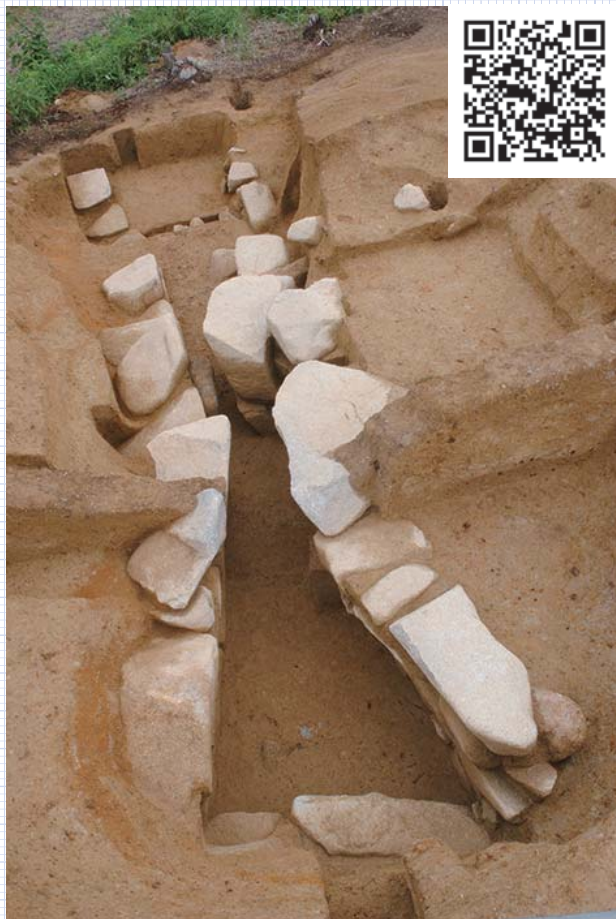
今回の調査では、平安時代後期の溝や土坑等を確認しました。また、これらの遺構に伴って土師器・黒色土器等が見つかりました。

3. トピック—分かったコト

今回の調査から、調査地周辺は、平安時代後期頃には水田として利用されていたことが分かりました。



作業の様子（背後は三上山）



曼荼羅山古墳

ゲスト展示 近年の注目遺跡

古墳時代後期の ナイスな群集墳

⑮曼荼羅山（まんだらやま）古墳群
／大津市清風町地先

古墳

◆調査主体・機関：大津市教育委員会

1. 調査の契機—調査したわけ

宅地造成に伴い、平成 25・26 年度と平成 28・29 年度にわたって、大津市教育委員会が発掘調査を実施しました。

2. 全体の概要—見つかったモノ

曼荼羅山古墳群は、大津市真野地域の曼荼羅山に分布する 120 基からなる古墳群です。古墳の多くは古墳時代後期（約 1500 年前）頃の横穴式石室をもつ小円墳で、後期群集墳と呼ばれています。

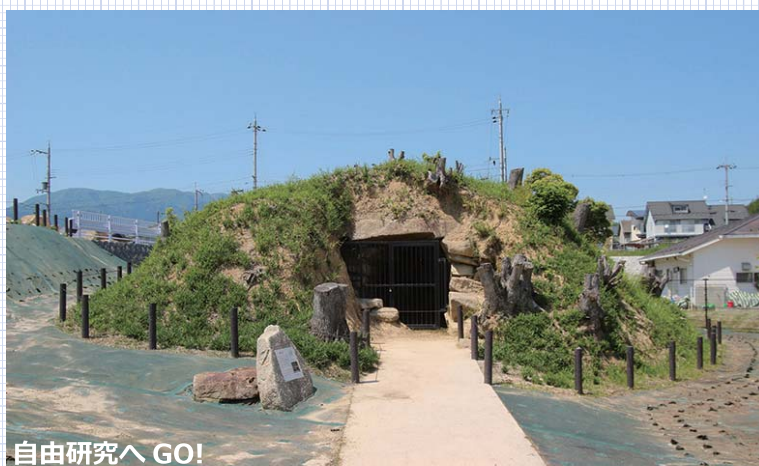
3. トピック—分かったコト

平成 25・26 年度には 5 基の円墳（83～85・87・88 号墳）が、平成 28・29 年度には 2 基の円墳（114・115 号墳）が調査されました。いずれも横穴式石室をもつ小円墳で、6 世紀後半頃に築造されています。石室内からは、須恵器・鉄器類・装身具類等が出土しています。

今回は、平成 25・26 年度に調査された 83・88 号墳の出土品を中心に展示しました。



115 号墳石室の床面 石室の床面には石が敷き詰められ、その上に棺が安置されていました（平成 28・29 年度調査。（大津市教育委員会提供）



自由研究へ GO!

公園のなかに保存された 88 号墳（見に行けるオススメの遺跡）

平成 25・26 年度に調査された 88 号墳は公園のなかで保存され、見学することができます。

行き方➡

曼荼羅山古墳群 マップ



ゲスト展示 近年の注目遺跡

秀吉の要城—水口岡山城

①⑥ 史跡水口岡山城跡（しせきみなくちおかやまじょうあと）

／甲賀市水口町水口地先

◆調査主体・機関：甲賀市教育委員会

室町
安土桃山

◆写真：甲賀市教育委員会提供



水口岡山城跡資料

水口岡山城の遠景 南からみたお城が築かれた丘陵です。



やぐらだい
櫓台の石垣



のきがわら
見つかった軒瓦 水口岡山城を築くさいに作られ、櫓の屋根に葺かれていたもの。



アゲハ蝶をあしらった鬼瓦（揚羽蝶文鬼瓦）

1. 調査の契機—調査したわけ

史跡水口岡山城跡は、天正13年（1585）、羽柴（豊臣）秀吉が中村一氏に築かせた城です。その後、豊臣政権下で、城主は増田長盛・長束正家と変わり、慶長5年（1600）関ヶ原合戦後に廃城となりました。

平成22～28年度に水口岡山城跡総合調査が甲賀市教育委員会によって実施され、平成29年2月には国史跡に指定されています。

2. 全体の概要—見つかったモノ

総合調査では、お城の構造を把握するため、お城の中心部（主郭）を中心に発掘調査が実施されました。その結果、平坦面（曲輪）の斜面に石垣が確認されたほか、櫓を設けた櫓台が確認されました。櫓台の周辺からは多数の瓦が見つかり、櫓には瓦が葺かれていたことが分かりました。

3. トピック—分かったコト

瓦を分析した結果、水口岡山城のために作られた瓦と、それよりも古い特徴をもつ高島市大溝城等から持ちこまれた瓦があることが分かりました。

さらに、注目すべきは揚羽蝶文鬼瓦です。揚羽蝶文は家紋とみることできますが、城主の家紋に該当する家はなく、縁起のよい文様（吉祥文）としてつかわれたとも考えられます。

平成 29 年度調査事業一覧

1. 発掘調査事業

No.	遺 跡 名	所在地	面積(m ²)	概 要
国土交通省事業				
1	三上西ノ川原	野洲市	9,260	平安時代後期の溝や土坑等が検出され、土師器や黒色土器等が出土した。
2	三上	野洲市	95	土坑や落ち込みが検出され、弥生土器などが出土した。
3	松原内湖	彦根市	100	古代の河道、中世の溝や小穴が検出され、縄文土器・土師器・須恵器小片などが出土した。
NEXCO 西日本関係				
4	椿谷	大津市	2,000	大正4～9年（1915～1920）頃に操業した石切場7箇所と石積1箇所の発掘調査を行い、その構造等を確認した。
NHK関係				
5	大津廃寺跡	大津市	480	江戸時代中～後期の町屋跡の関係する古式水道、および素掘り井戸や土坑などの遺構を検出した。
県土木交通部道路課事業				
6	番場	日野町	700	縄文時代の土器埋納ピット、弥生時代後期頃の流路、中世期のピット・土坑等を検出した。
7	播沢	日野町	2,000	古墳時代前半期頃の土坑、古代頃の流路、中世期の掘立柱建物1棟ほか、土坑・ピット・溝等を検出した。
県土木交通部流域政策局事業				
8	蜂屋	栗東市	5,195	古墳時代の竪穴建物や掘立柱建物・井戸・土坑墓・溝、飛鳥時代～奈良時代の掘立柱建物、平安時代末～鎌倉時代の掘立柱建物や井戸・木棺墓等、室町時代後期～安土桃山時代の堀等、江戸時代中期の溝、耕作溝等を検出した。
県農政水産部事業				
9	三津屋	東近江市	4,600	井戸や土坑・礫充填土坑・集石遺構等を検出し、弥生土器、須恵器、土師器、黒色土器、サヌカイト製剥片等が出土した。
市町事業				
10	旧正蔵坊庭園	大津市	524	市文化財（名勝）指定に伴う事前の測量調査。正保元年（1644）作庭と推定される座観式庭園で、園城寺山内の庭園と共通の池泉形式をとる。
11	福満	彦根市	3,205	古墳時代の竪穴建物や奈良時代の掘立柱建物、柵列のほか、平安時代の溝や河道、鎌倉時代の溝等を検出した。
12	黒土（櫛差ほか）	草津市	3,883	奈良時代の掘立柱建物、平安時代末頃～鎌倉時代の掘立柱建物等、江戸時代の井戸や土坑を検出した。また、平成27年度検出の奈良時代の道路状遺構の延長線上で道路状遺構を検出した。
13	法養寺・横関	甲良町	1,012	飛鳥時代から奈良時代にかけての掘立柱建物や竪穴建物、溝等を検出した。

2. 整理調査事業

No.	遺 跡 名	所在地	現地調査年度	概 要
国土交通省事業				
1	塩津港	長浜市	H24・26・27	12～15世紀の護岸施設等を確認。古代塩津港の繁栄ぶりを示す土器・木製品・金属製品等が多数出土。
2	松原内湖	彦根市	H24～27	縄文・奈良・室町時代の掘立柱建物、溝、土坑を検出。古墳時代の横穴式石室、戦国期の堀切・竪堀を確認。
3	中畑・古里	野洲市	H27・28	弥生時代中～後期の方形周溝墓跡や竪穴建物、古墳時代前期の竪穴建物、奈良時代の柵・掘立柱建物・井戸、平安時代の溝・堀立柱建物・井戸等を検出。
NEXCO 西日本関係				
4	椿谷ほか	大津市	H27	近代の石切り場の測量調査。
県土木交通部河港課事業				
5	塩津港	長浜市	H18～20	平安時代後期の神社が良好な状態で検出され、神像や大型木簡が出土。
6	天神畑・上御殿	高島市	H20～26	古墳時代の古墳や竪穴建物、奈良時代の掘立柱建物等を検出。平安時代の旧河道からは墨書人名土器・人形代・馬形代等が出土。また、双環柄頭短剣の鍔型が出土。
7	蜂屋	栗東市	H28	古墳時代前・中期の河川、平安時代末～鎌倉時代初頭の屋敷区画溝、室町時代後期～安土桃山時代の井戸、土坑、河川、江戸時代中期の井戸、溝や土坑など多数の遺構を検出。
8	野尻	栗東市	H27	大溝を検出。
県土木交通部道路課事業				
9	土位	東近江市	H27	江戸時代末の愛知川堤防の一部と考えられる石積み護岸を検出。
10	生津城跡	大津市	H28	戦国時代の城を調査。土塁、堀切、石垣を伴う櫓台、蔵と推定される礎石建物、被熱した壁土が多数出土した区画溝、土坑、小穴等を検出。
県農政水産部事業				
11	金森西	守山市	H27・28	古墳時代の溝・土坑・小穴、平安時代の溝・土坑・小穴、江戸時代の溝等を検出。
12	賀田山	彦根市	H27・28	古墳時代前期の小穴、奈良～平安時代の小穴、鎌倉～室町時代の掘立柱建物・溝・井戸・土坑等を検出。このうちの鎌倉時代の土坑2基からは木簡（勸請板）が出土。
市町事業				
13	ブタイ	竜王町	H28	奈良時代の掘立柱建物や運河とみられる大溝等を検出。大溝からは多量の須恵器や木器とともに木簡が出土。

ネットで
GO!

自由研究につかえるかも？ 私たちのホームページ！

①名所をめぐる自由研究 ⇒ 〈新近江名所図会〉へGO！

名所図会とは・・・

いまから150年ほど前の江戸時代の終わりごろ、
全国各地の名所や交通をていねいに紹介した〈ガイドブック〉です。

新近江名所図会とは・・・

新近江名所図会とは、私たちのホームページで連載している現代版の『名所図会』。
今の私たちの目から見た新しい〈ガイドブック〉をめざしています。
ご紹介しているのは、定番のスポットから、知る人ぞ知る隠れたスポットの数々。
写真やおすすめポイントを交えながら解説しています。もちろん、地図も完備！

探訪型の自由研究にオススメです！

連載回数は280回を超えました。ホームページでは、過去の連載を
市町別にも整理してあります。お住まいのお近くの名所を選んで
ぜひおとずれてみてください。地域の歴史の隠れたヒミツを発見できるかも！



ホームページの
QRコードは
コチラ

②発掘のヒミツにせまる ⇒ 〈調査員のおすすめの逸品〉へGO！

歴史好きの少年・少女にオススメです！

連載〈調査員のおすすめの逸品〉では、さまざま経験をつんできた調査員たちが
さぐりだしたヒミツや、よりすぐりの道具についてご紹介。

夏休み自由研究特集も連載中！

ホームページのQRコードはコチラ ⇒



まだまだあるぞ！ QRでもっと調べよう！



塩津港 遺跡 P10・11



槇皮 (マイハダ)



ミニチュア!?



埋め立てゴミ



耳かき



起請文木簡



塩津神社の石灯篭



遺跡の展示板



土の下の"超状態"

上御殿 遺跡 P12



短剣の鋳型



古代の祭祀道具



馬形代



船形代



人形代と墨書土器



石釧

賀田山 遺跡 P17



御霊神社の勧請縄



勧請吊と巻数板



聖なる板 巻数板

メモして
スケッチしてGO！





「大人だって
やってみたい」

の声にお応えします！秋の・・ おとなの考古学体験講座



※ちょっとハードな大人向けプログラムです！

9月1日 土曜日 染物体験

生の藍を使ってスカーフを染め上げます。



昨年度の体験記事

時間：13：30～
定員：8名（先着順）
参加費：2,000円

10月21日 日曜日 骨角器製作体験

鹿の骨を使ってかんざしを作ります。形を整え、磨き上げた後に天然素材で染色します。



昨年度の体験記事

時間：13：30～
定員：8名（先着順）
参加費：1,500円



11月23日 金曜日 石器製作体験

サヌカイトを鹿の角のハンマーで加工してナイフを作ります。難易度高し。カモン、チャレンジャー！



昨年度の体験記事

時間：13：30～
定員：8名（先着順）
参加費：2,000円

11月11日 日曜日 勾玉製作体験

ろうせき
蠟石を使って勾玉を作ります。普段使いができる出来栄えにちょっと感動！



昨年度の体験記事

時間：13：30～
定員：8名（先着順）
参加費：1,000円



◆申し込み・問い合わせ

公益財団法人滋賀県文化財保護協会
TEL:077-548-9780（平日 9：00～17：00）
e-mail：somu@shiga-bunkazai.jp

申し込み用
メールの
QRコードは
コチラ⇒



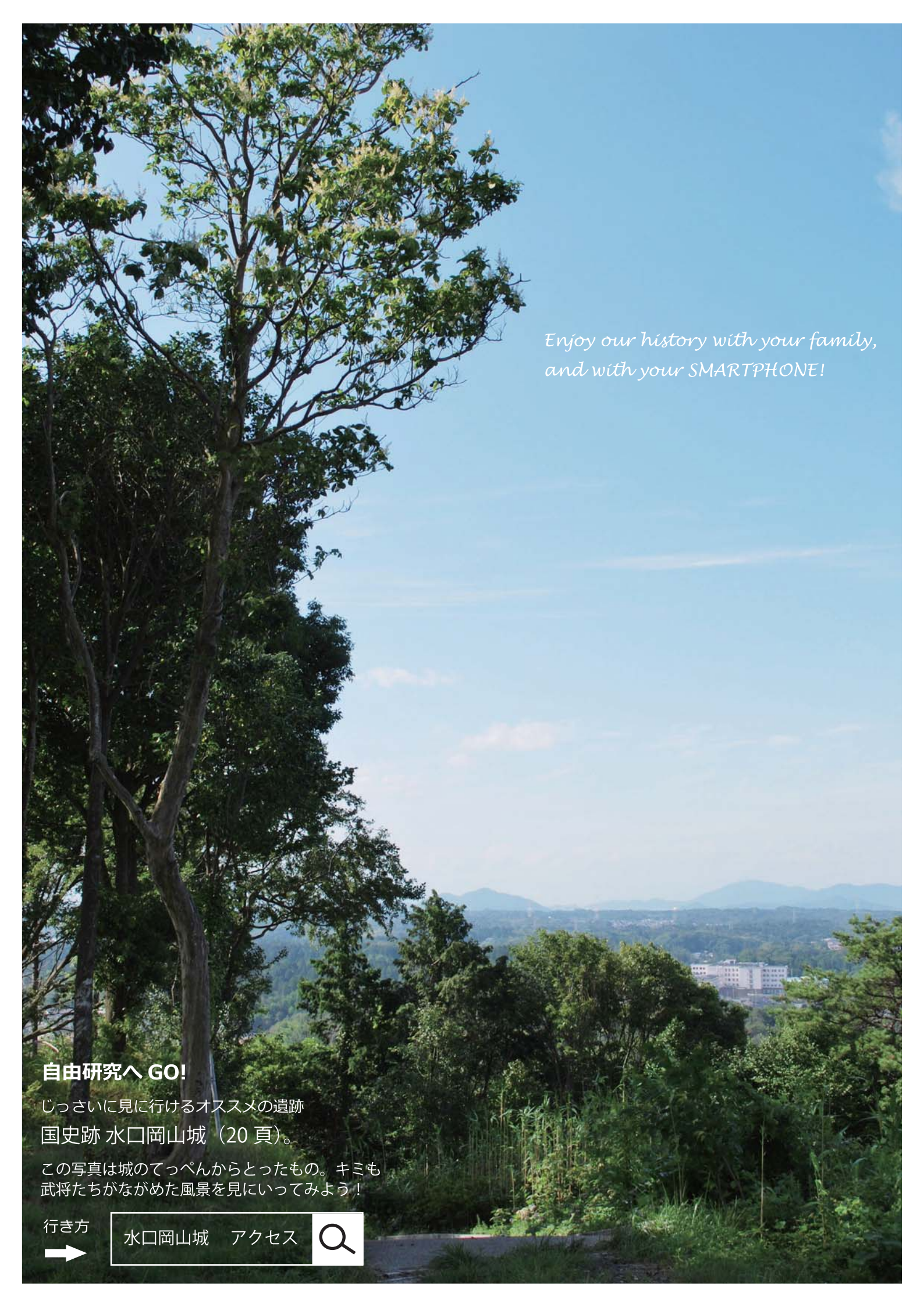
レトロ・レトロの展覧会

2018年（平成30年）7月25日 発行
編集・発行 公益財団法人滋賀県文化財保護協会
〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732-2
TEL 077-548-9780 / FAX 077-543-1525
印刷 大津紙業写真印刷株式会社

会期 2018年7月25日～9月2日

主催：公益財団法人滋賀県文化財保護協会
共催：滋賀県教育委員会・大津市教育委員会
彦根市教育委員会・草津市教育委員会
甲賀市教育委員会・竜王町教育委員会
甲良町教育委員会

この冊子は文化庁の地域の特色ある埋蔵文化財
活用事業補助金により作成しました。



*Enjoy our history with your family,
and with your SMARTPHONE!*

自由研究へGO!

じっさいに見に行けるオススメの遺跡
国史跡 水口岡山城（20 頁）。

この写真は城のてっぺんからとったもの。キミも
武将たちがながめた風景を見にいてみよう！

行き方



水口岡山城 アクセス

